



平成28年
3月号



法人 田原公民館
〒1078-1
奈良市 生野学習財団
奈良市 荻荷町1078-1
TEL 81-0888
発行責任者 泉森 由貴

「やわらかのトロッコ」

館長 泉森 由貴

梅の花が長く楽しめる今年。早くは年明けから咲いている木もあります。花が咲くと視覚から暖かさを感じられるように思います。春はもうすぐそこまで来ています。

少し前のことですが、いつものように田原地区内を自転車で走っていました。その日は足を伸ばして田原春日野町のあたりを目指して。県道から大きく回り込むように上った先は長く奥まで宅地が広がっています。初めてここを訪れた私は、その先へ進むとすると、いつも老春塾に来てくださる紳士が目にとまりました。声を掛けると自転車で来たことに驚いた様子。でもすぐに春日野の地理を教えてくださいました。私は地区内を初めて訪れる時は町の守護神であるお宮さんを探すことにしています。「春日野のお宮さんはどこですか」と尋ねると、紳士は「面白いものをみせてあげよう」と小さな入れものに油を入れて持ってきてくださいました。林を真上に望む場所に移動するとカバーを被った小さな機械とその下に一本のレールが見えました。曰くそれがお宮さんに移動するための乗り物だということです。カバーを外して、給油して、手でエンジンかけるとガタガタと音を立てながら、早歩きのようなスピードで急な坂道を登っていきます。両サイドは雑木林。

手を伸ばせば触れるような距離感です。中腹で振り返ると、矢田原から荻荷への遠景が望めます。「昔は子どもたちがたくさん乗って遊んだんやけど、今はもう子どももおらんわ」すこし寂しそうに伺うと、その乗り物は終点のお宮さんに到着しました。トロッコ用に立てられた鳥居をくぐって、参拝へ。帰りもそれに乗って下りました。



絵 平古力三

後で伺うと、春日野は開拓の地。ここをふるさとと決めた先祖が造営した社に、町民が歳を重ねてもお参りできるように古い機械を払い下げて敷設したとのこと。それは高齢者のために。子どもたちのために。そして祭事のお供え物を運ぶ運搬用として。力持ちで愛らしい、人の優しさで溢れたトロッコはカバーのふとんを被って静かに眠りにつきました。どうか、またいつか次世代の子どもたちの歓声で目覚めますように。

「プチ田舎暮らし・田原米麴味噌作り」
大成功で終了しました。

奈良市東部の5公民館の連携事業、風土と歴史に根ざした食・農・技を体験する「プチ田舎暮らし」シリーズ。田原での今年度最後の講座は米麴から作る味噌作りに挑戦しました。一週空けて2回の講座とした内容は、麴菌を混ぜた米の発酵作業と圧力釜で蒸した地元産大豆の手作業による混合の工程でした。出来上がった味噌が食べ頃になるのは約半年後。参加者のみなさんは大切に密閉された3キロ半のお味噌を持ち帰られました。参加者のお一方から感想をいただきました。

米麴味噌作りに参加して

受講生 中尾 真生さん

手作りのお味噌で作ったお味噌汁が、どんなに美味しいかを知ったのは、何年前かに田原の市場で買ったお味噌がきっかけです。それから旅先で地元のお味噌を買い求めては、「ああ、やっぱり田原のお味噌の方が好きだなあ」と思っていたところに、お味噌作りの講座があると知り、参加させていただきました。



熱々のご飯を人肌で冷まします

去年も大阪で味噌作り教室に参加しましたが、米麴から作るのは初めてで、貴重な

体験でした。先生の実演の後いざやってみると、腕力と根気のいる作業でしたが、先生方のサポートのおかげで、田原の市場で買った懐かしいお味噌と再会できました。作業の間には煮た大豆を使った郷土のおやつまでいただき、お心遣いに感激すると共に、参加者の方々ともお話できてほっとした時間を過ごさせていただきました。先生方のように、自分でお味噌を作れるようになりたいと思うと同時に、また田原で皆さんとわいわいと作るのも、いいものだなと思っています。



完成した味噌を密閉しました

賑やかな閉講式でした。

「老春塾」27年度が終了

5月に開講した、平成27年度の老春塾。全7回の講座をすべて終了いたしました。最終回は奈良琉球舞踊サークルによる、琉球舞踊の観賞と体験でした。一年間の締めくくりにふさわしい盛り上がりとなった、



記念品を贈られる受講生代表

この日。最後は椅子を隅に移して皆さんで、ゆいまーる。たくさん汗をかいた後は、一年間の振り返りをし、小垣塾長より、皆さんへの記念品贈呈をもって閉講となりました。小垣塾長のご挨拶では感謝の言葉が述べられ、受講生の皆さんよりねぎらいの拍手が何度も贈られました。

老春塾はもう次年度の準備が始まっています。27年度は矢田原町への出張講座も行いました。28年度も魅力と実益のある事業を目指します。引き続きよろしくお願ひします。

新年度登録更新に向けて
代表者会議を行いました。

公民館では年度に

2回、自主グループの代表者会議を行っています。普段、活動していてもなかなか顔を合わせることはない皆さん。各々の日頃の活動のことや、発表のこと。文化祭の振り返りや東部公民館まつりのこと。次年度の登録更新の話まで色々な議題で話し合いました。絶対数は多くはないですが、個性を磨いて田原らしいグループ活動を続けてください。27年度のグループ活動もお疲れさまでした。



代表者会議の様子



第7回 「知られざる閩年の行事」

地域おこし協力隊の瀬戸山です。暦の上ではもう啓蟄。だんだんと、吹く風や空気が春をまとってきたのがわかります。スギ花粉の多さが報道される時期にもなりました。花粉症ではない、というのが私の数少ないアピールポイントではありますが、毎年「今年こそはなるかも」と思いながら過ごしています。



月ヶ瀬の梅もいい感じですよ

2月28日は、月ヶ瀬公民館で「東部公民館まつり」でした。公民館さんには大変お世話になっている協力隊。もちろん、お手伝いさせていただきます！プチ田舎体験の助っ人に、学習発表の司会。この記事が皆さんに読まれる頃にはもう終わっています。もし司会をお聞きになった方がいらっしゃったら、この感想を教えてください。田原の体育祭りで司会をやらせてもらった経験が活きるというかなと思います。

さて、話は変わりますが今年も閩年。オリピックイヤーでもありますが、この田原地

区でも4年に一度の行事があるということでお邪魔してきました。長谷町の「閩庚申」です。4年に一度、竹の鳥居を作り変えて青面金剛様にお参りをします。庚申の日に三戸の虫が体内から出てきて、閩魔様に悪いことの報告をするのを防ぐために夜通し宴会をしたのが庚申講の始まり。青面金剛様は百姓の神様と教えていただきました。お聞きしたら、田原ではもう長谷でしかやっていないのだとか。そんな貴重な機会に呼んでいただき、本当にありがたかったです。

こんな風に、町ごとに伝わる異なる行事があるというところを改めて知ることができ、自分の勉強不足も痛感しましたが、同時にもっと知りたい！という気持ちも湧き上がってきました。

今年も町ごとの民俗風習など、たくさん知れたらいいなあと思っています。もし、「こんなところ？」っていう情報があればぜひ教えてください！よろしくお願ひします。



次々に組み立てられていく鳥居

3月の公民館行事とその他のお知らせ

- 12日（土）主催講座 第10回TAWARAキッズ
- 12日（土）おん田祭・今井堂天満神社 10時から
- 15日（火）田原幼稚園卒園式
- 16日（水）田原小中学校卒業式

いよいよ27年度が終了する3月を迎えました。今年度も公民館事業に地域の方々の熱いご声援をいただき無事、様々な事業を終了することができました。本当にありがとうございました。28年度もよろしくお願ひいたします。



名前はがんばり屋のおさるさん「みはる」ちゃんに決定！かわいがってくださいね。

- 1位：がんばり屋のおさる「みはる」ちゃん 39票
- 2位：いつも明るいおさる「はれっこ」ちゃん 38票
- 3位：積極的で活発なおさる「すすむ」ちゃん 31票

無効票7票でした。

私のプロフィール 身長：100cm 体重：5kg 手の長さ：63cm
特技：毛づくろい 性格：おちゃめ 休みの日：月曜日と祝日

●今年一年、田原公民館の玄関で皆様をお待ちしています。

